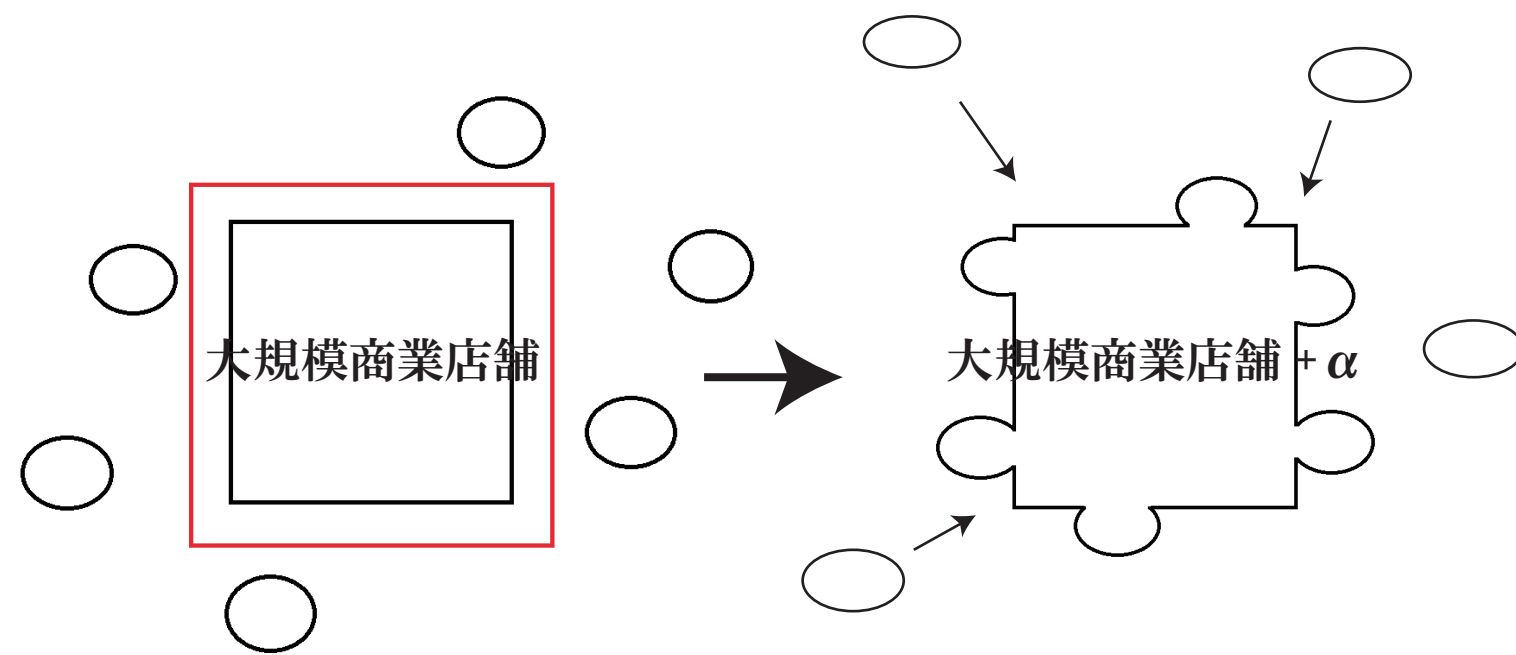


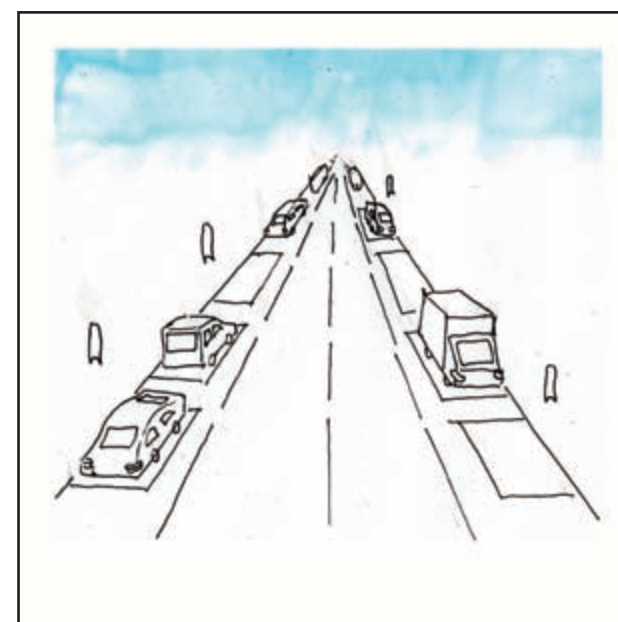


屋台村

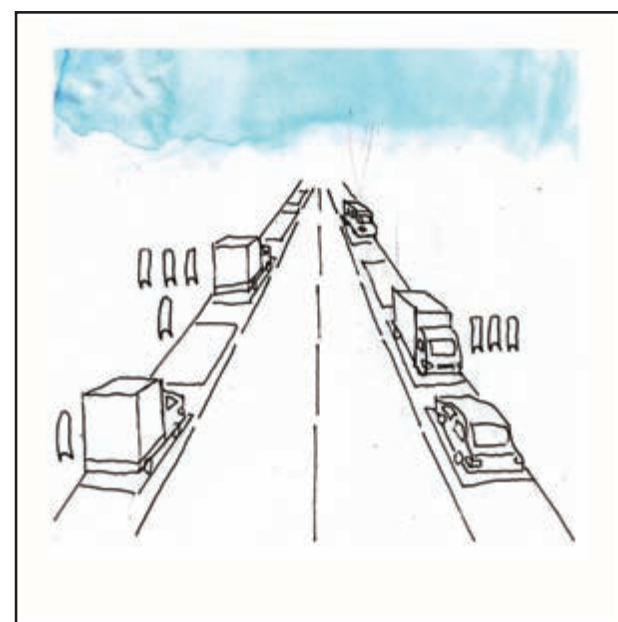


大規模商業店舗は品ぞろえは豊富だが商品の変化は薄く、客層が固定されていく

様々なジャンルのものが集まることでより多くの層を取り込むことができる。



パーキングメーターが多く利用されているが、路上駐車されているようで見えが良くない。



時間帯を決めて駐車スペースを利用し、屋台を呼び込むことで屋台村となり人が集まる。

マーケット公園



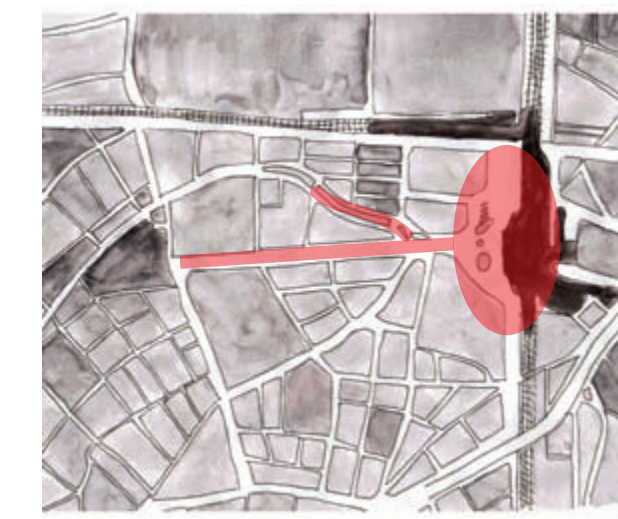
- ・周辺の企業の新製品の発表・販売の場となる
- ・周辺住民・活動団体の活動の場となる（バザー、集会、プレゼンテーション）
- ・普段は公園であり、屋根の下で休憩できる



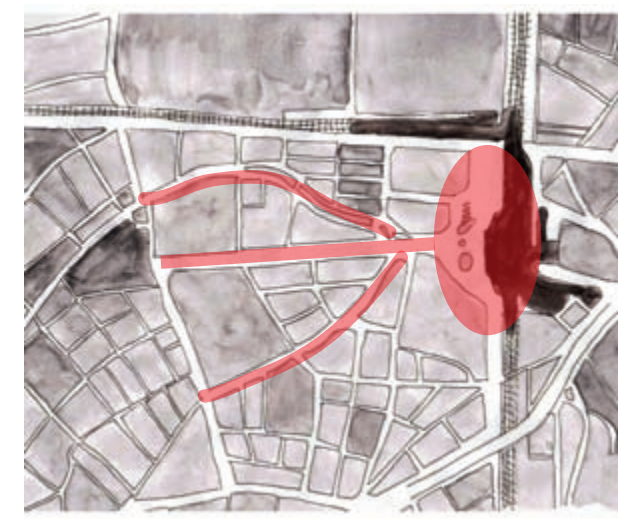
商業業務地区
業務複合地区
※この地図の周辺が都市型住宅複合地区

駅へのアプローチのひとつであり、駐輪所とも隣接しているので、企業、住民、駅利用者の交流の場となりえる。屋台村とは別にこの場もまた様々なジャンルのものが販売される場ともなる。

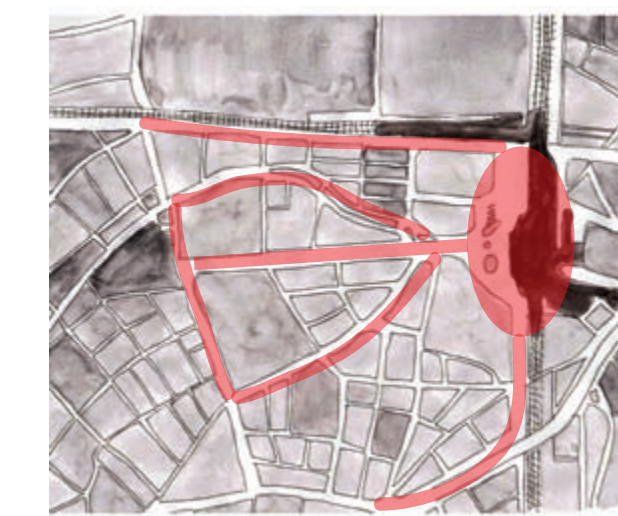
今後の広がり



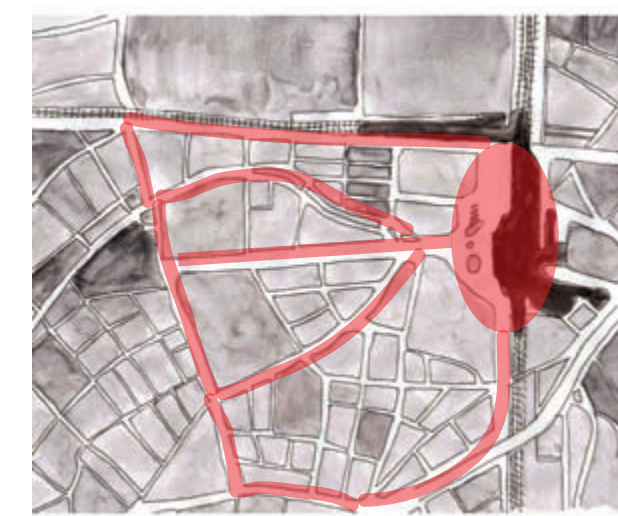
駅前中央通り（どんたく通り）とそこから分かれた道が開発されていく。



さらに範囲がのばされていき、枝分かれも増えて選択の幅が広がる。



一部に回遊性が生まれ、駅を出発点としての選択肢がさらに増えていく。



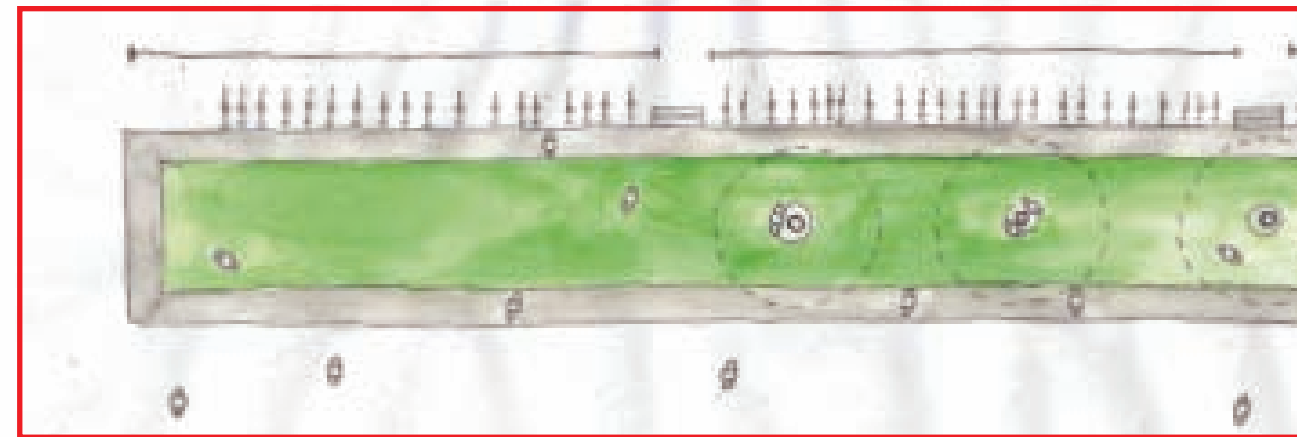
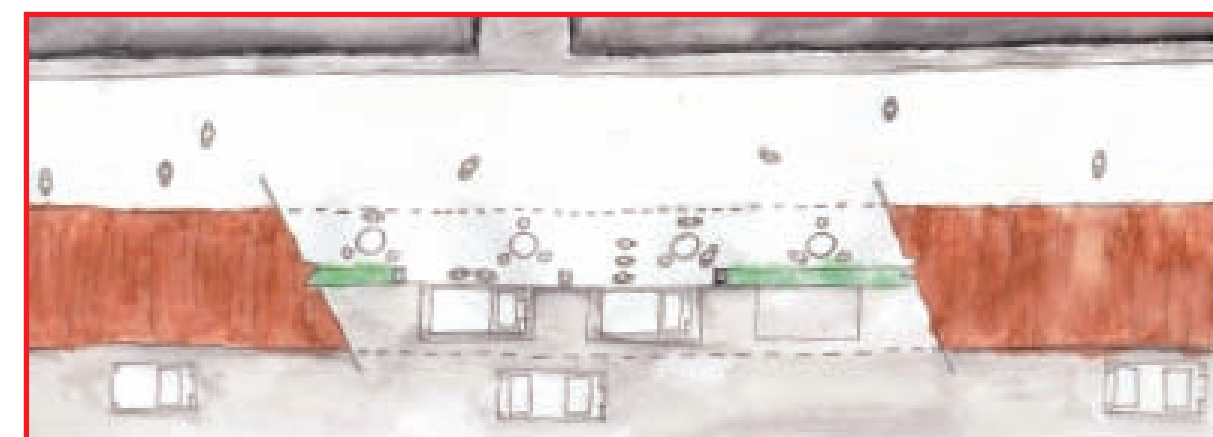
全体がつながっていき、駅の東側一帯を周るようになる。

回遊都市見聞

～屋台・出店による人の誘致～

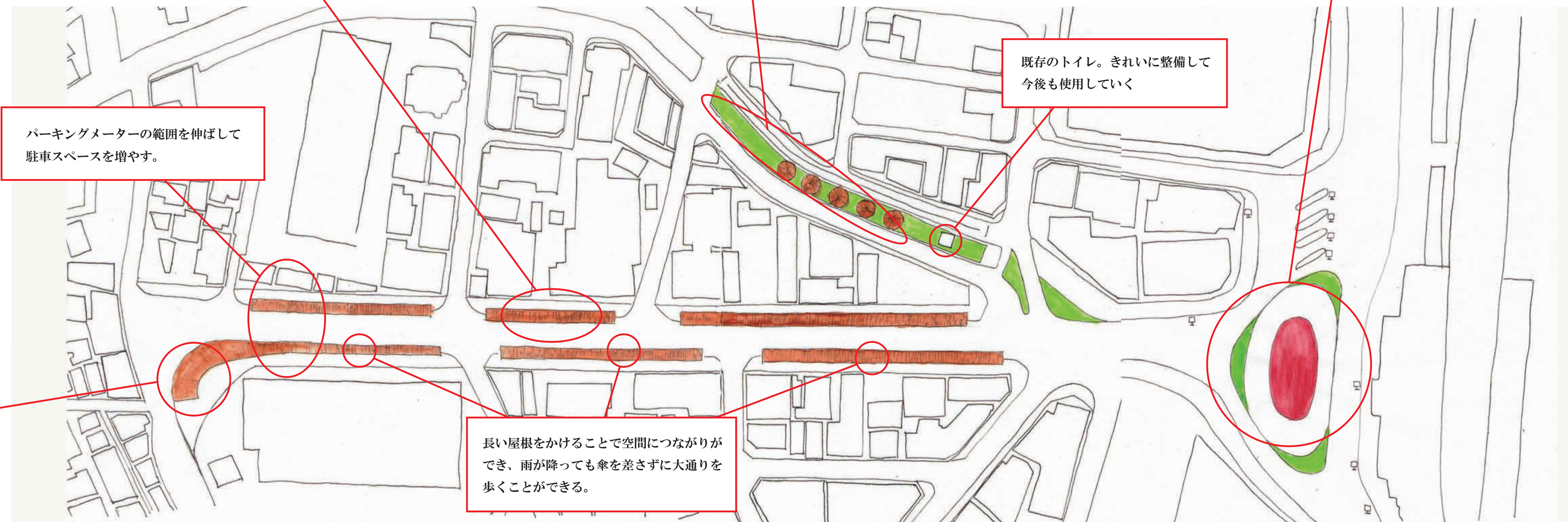
コンセプト

大井町の駅周辺には大型商店があるために人々はそちらにいつてしまいがちで、この方向には訪れた人が興味を持つような施設などがないように思われる。そのため、目的の方向へ向かうための道にするのではなく、道そのものを人々が訪れる目的にするべきだと考えた。道に回遊性を持たせることで街全体を眺めながら歩け、周辺企業や住民も利用、参加できるようにして人々の交流を促進させ街を活性化させる。今回の計画案を中心として、その範囲を今後広げていく。



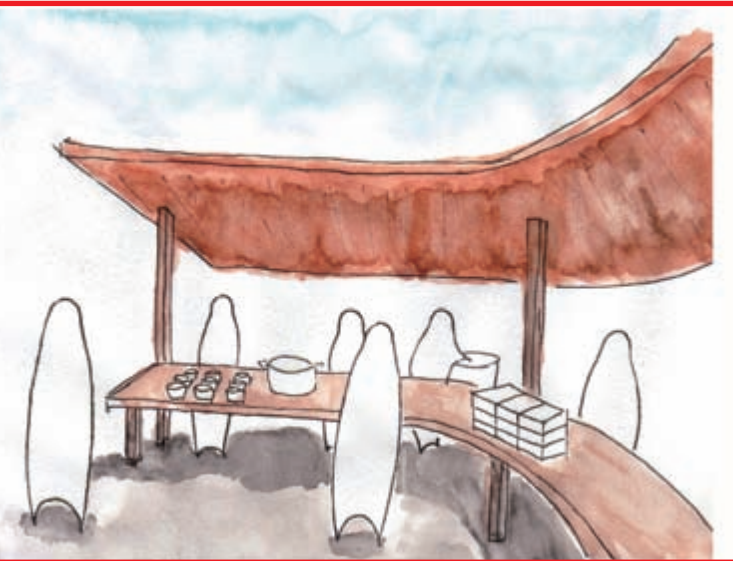
イベント広場

現在は道は広いが特別に催し物をする場がないので、広場を作ってイベントを開けるようにし、人々の興味の集まる空間にする。



食堂屋台

車の屋台とは別に、周辺の企業の食堂などが提携して開く屋台。これにより関わるの薄い企業どうしも食を通して親交を深めることができる。



～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

回遊都市見聞

～屋台・出店による人の誘致～

■提案要旨

大井町駅は利用者が多く、駅周辺の大型商店にも多くの人を訪れるが、そこからの人の広がりには少ない。東側へ人を呼び込むにしても名所などの会社や住居以外に人が向かっていくような場所はないように思える。そこで、どこかへ向かうことを目的とした道ではなく、そこを歩くことを目的とした道を計画するべきだと考えた。

駅前大通りのパーキングメーターはよく利用されているが、今のままでは路上駐車されているように見えた目が良くない。そこに屋台を呼び込み、時間を決めて利用することで屋台村にする。様々なジャンルの屋台を呼び込むことでより幅広い層の人々が集まってくる。

屋台のひとつに周辺企業の食堂だ提携して開く場をつくり、そこでは今まで関係の薄かった企業どうしが食を通して親交を深められる。

現在、道は広くとられているが広場のような場所がないので駅前にイベント広場を作り、そこで催し物を開くことで駅の利用者の興味を街の方へと向ける。

駅へのアプローチのひとつに公園を置き、そこでは周辺企業の新製品の発表・販売の場、周辺住民や活動団体の集会・活動発表の場ともなる。駐輪所・駐車場が隣接しているので人通りもあり、駅利用者と街の交流の場ともなりうる。

今は2本の道を周るようになっているが、将来的には駅を中心として今回の計画のような道がつながっていきより強い回遊性が生まれる。これから人が通らなかつたような道にも人が訪れるようになり、人を呼び込む施設も増えていくことが期待できる。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。